

校報

No. 116
MAR. 2022
Nihon University Mishima
Senior & Junior High School





日本大学三島高等学校・中学校
わたなべ ぶいちろう
校長 渡邊 武一郎

【気の持ちよう】

令和3年度も残りわずかとなりました。今年度「も」といったらいいのでしょうか。新型コロナウイルス感染症との戦いがまだまだ続いています。学校行事も今までとは同じようにできないことが当たり前になってしまいました。例年通り、今まで通りに物事を進めることができないと悲しむのか、新しいことを生み出すチャンスと捉えるのかは、場面ごとで違ってくるかと思いますが、個人の気の持ちようによっても変わってきます。ものの捉え方、考え方によって、自分の気持ちを大きく変えることができます。

先日、38年ぶりに選抜高等学校野球大会に出場が決まった野球部の永田監督も、本校で指揮をとるようになり、前任校からの指導方針を大きく変えたと聞いています。指導方針の根っこは変えずに、時代や環境に応じて、指導方法やアプローチを変えているようです。その中で、チームや選手に足りないものを判断し、そこを強化して

いく。練習環境に制約があれば、その場に応じて対応していく。選手の気質が違えば、どうしたら最大限に能力を引き出せるかを考える。

永田監督のモットーでもある『全員野球』を掲げ、部員全員が同じ目線で、同じ目標に向かって進んでいく。日大三島の野球部に足りないものが「成功体験」と感じれば、そのために何が必要なのか、対策を講じていく。東海大会前の関西遠征が、まさにその行動のあらわれでした。選手たちは強豪校との戦いの中敗戦を重ねたにもかかわらず、東海大会では怒涛の躍進を遂げたのは周知のとおりです。強豪校との戦いを通して、試合に負けたにもかかわらず、自分たちも戦えるという自信をもって東海大会に挑めたのではないのでしょうか。監督は、「選手が平常心でどれだけ戦えるか。その準備をするのが監督の仕事」と言っています。

生徒のみなさんを見る角度を少しだけ変えることによって、今まで見えなかった光景が見えてくるかもしれません。自分の新しい可能性を見つけ出していきたいと思います。

選抜甲子園

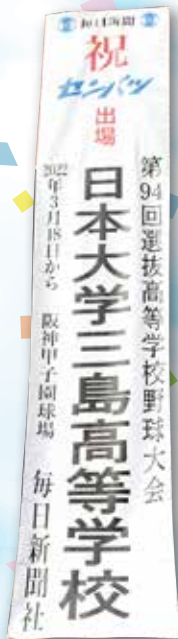
第74回 秋季静岡県大会 優勝

日大三島の野球部が、1989年以来——実に33年ぶりに高校球児たちの聖地に帰ってくる。春のセンバツという舞台ではさらに5年遠ざかっていたが、ついに今年、悲願の出場を果たした。

静岡県大会、東海大会と、決して磐石な試合運びであったわけではない。1、2点を争うゲーム展開も多くあった。静岡県大会では準々決勝、準決勝と、2試合連続でサヨナラ勝ち。一つ、また一つ、勝利を重ねるごとにナインは確実に成長していった。

監督である永田裕治教諭は、前任校では、春夏通算18回、選手たちを甲子園に導いた。U-18の日本代表監督を務めたこともある。そんな名将の下でプレーする選手たちは、最初はおとなしいとまで言われていたが、次第に強く、たくましくなっていた。その成長ぶりに、永田監督をして高校生はすごいとまで言わしめた。

「全員野球」を信条とし、この秋何度も粘り勝ってきた選手たちが全国の舞台でどんな輝きを放つか。野球部の甲子園での活躍に期待したい。



大会結果

第74回 秋季東海地区高等学校野球 静岡県大会 東部地区予選

- 日大三島 5 - 3 富士宮北
- 日大三島 3 - 2 三島南

第74回 秋季東海地区高等学校野球 静岡県大会

- 日大三島 10 - 1 藤枝北
- 日大三島 11 - 0 三島北
- 日大三島 10 - 9 掛川西
- 日大三島 5 - 2 静岡
- 日大三島 7 - 2 聖隷クリストファー

第74回 秋季東海地区高等学校野球大会

- 日大三島 5 - 2 津商
- 日大三島 10 - 5 大垣日大
- 日大三島 6 - 3 聖隷クリストファー

- 明治神宮外苑創建95年記念 第52回 明治神宮野球大会 高校の部
- 九州国際大付 2 - 1 日大三島



監督
ながた ゆうじ
永田 裕治 教諭

東部大会の時から、あまり多くのことを欲張らず、一つずつやっていこうと言ってきました。ただ、練習では「全国優勝」という大きな目標を掲げていました。東海大会ではうまいこと選手たちが躍動したと思います。個々の力は決して高くないので、全員の力を結集して一生懸命プレーして、それが勝利につながれば日大三島高校にとってもプラスになると思います。春に向けて、チームをベストな状態で上げていきたいと思っています。



主将
かとう ひろと
加藤 大登

甲子園の出場が決まるまではそれぞれが頑張っていたんですけど、決まってホッとしました。自分たちは「全員野球」というのをモットーとしているので、甲子園ではチーム一丸となって戦う姿を見せたいと思います。このチームの持ち味はつないでいける打撃だと思うので、甲子園でもそれを見せたいのと、冬の練習で鍛えた守備力も見せたいと思います。



出場決定!!

第74回 秋季東海大会 優勝



congratulation!



● 宿泊研修(1年生)

7月20日(火)、21日(水)に宿泊研修を実施しました。午前中は地元三島の楽寿園・源兵衛川・三嶋大社を、午後は研修地近くの大涌谷・箱根神社の散策をしました。

ホテルでは、日大三島中学生としての心構えや、学校生活をより有意義に過ごすためにはどうすればいいかを学びました。



● 林間学校(2年生)

10月27日(水)から29日(金)にかけて岐阜県白川郷・高山市、長野県上高地で林間学校を実施しました。さわやかな秋晴れのもと、歴史的建造物を見学したり、大自然の中を散策したりしました。



● 秋桜祭

11月20日(土)に桜アリーナにて、秋桜祭を実施しました。各チーム全力で戦い、ときにはお互いを応援しあうなど温かい雰囲気の中で競技を行いました。生徒達は協力して一つのことに取り組み成し遂げることの素晴らしさを体感できました。



● 日本大学先端研究講座

日本大学理工学部長である青木義男先生をお招きし、【宇宙エレベーター】に関する講演をしていただきました。近年、身近に感じることができるようになった宇宙。将来、宇宙旅行をしている自分の姿を想像し、胸を膨らませている様子が見られました。



● 修学旅行(3年生)

中学校生活集大成の修学旅行。大鳴門橋遊歩道を歩き、北淡震災記念館での阪神淡路大震災について学び、姫路城や神戸市内散策、USJ、さらには室生寺まで。食事や機内でのマナー、ホテルでの落ち着いた行動の全てが素晴らしく、この3年間の成果をいかに発揮していました。



● 遠足

4月下旬に学年ごとに遠足に行きました。3年生は昨年中止になった修学旅行の代わりに、長野に1泊2日の宿泊遠足に行きました。1・2年生は日帰りで行きました。1年生は富士急ハイランドに行き、2年生は伊豆・箱根を観光しました。各学年それぞれ行った先でかけがえのない思い出を作ることができました。



● 桜陵祭

2年ぶりとなる桜陵祭は感染症対策のため外部からの来場者なしでの開催となりました。各部活動の成果発表の他、高校3年生は地域活性化プロジェクトを、高校1・2年生は各クラス展示を行いました。

どのクラスもコロナ禍という制限のある中で、見てくれた方に楽しんでもらえるような工夫を凝らしていました。



● 地域活性化プロジェクト

クラスでPRしたい飲食店を選び、事前取材、PR動画作成、予約販売を行い、商品を受け渡しました。コロナ禍で地域のためにできることを考えて取り組んだ結果、



お店の方、商品を受け渡した方、美味しそうな商品を受け取った方、皆が笑顔になりました。



● 体育大会

3年生は5月12日(水)、2年生は11月15日(月)に体育大会が実施されました。今年度も昨年度同様、感染症対策のために学年別、半日での実施となりました。



そのような中であっても、いざ実施となるとクラス毎に団結し、一生懸命競技に参加している姿が非常に印象的でした。

※1月実施予定の1年生は中止になりました。

● 芸術鑑賞会

11月29日(月)、三島市民文化会館で芸術鑑賞会を実施しました。昨年度は実施されず、生徒が集まって久しぶりに芸術鑑賞をする機会となりました。今年度は日



本を代表するフュージョンバンドのT-SQUAREの音楽を鑑賞しました。「宝島」や「TRUTH」などの代表曲の演奏に手拍子で応え、鑑賞会は大盛況に終わりました。

● スポーツ大会

12月14日(火)、15日(水)に学年別にスポーツ大会(バレーボール、サッカー)を実施しました。色別に4つの団に分かれ、優勝目指して各組全力で試合に臨みました。結果、1・2年生ともに白団が優勝しました。



● 学術文化部門発表会

2月5日(土)、学術・文化部門発表会を実施しました。感染症対策のため、公演は無観客・オンラインで行われましたが、カメラを通して部員たちの熱意が伝わってくるほどでした。どの部活動も一年間頑張ってきた成果を堂々と発表していました。



大学合格者インタビュー



日大三島
中学校出身
一貫生

特別進学クラス

日本大学
歯学部 歯学科

鈴木 大智さん

インターアクト同好会
日本大学三島中学校出身

Q 将来の目標と意識した勉強法を教えてください。

A 私がこの学部を選んだ理由は多くの人の歯を長期にわたって健康な状態を保ち、QOL（クオリティ・オブ・ライフ）の向上に努められるような歯科医師になりたいと思ったからです。合格の要因は、早くから受験を意識して基礎を着実に積み重ねたことだと思います。

Q これから受験を迎える後輩にアドバイスをお願いします。

A 当たり前のことですが勉強は誰かにやらされるものではなく、自ら進んでするものです。自分が本気で知りたい、わかるようになりたいと感じ、計画的に取り組むことが学力向上の鍵だと思います。そのためにはモチベーションの維持がとても大切です。ある程度無理だと思っても、自分を信じて楽しく受験を乗り切ってください。



特別進学クラス

静岡大学
工学部 化学バイオ工学科

小野 日舞里さん

書道部
沼津市立第三中学校出身

Q 進学先を選んだ理由と、将来の夢をお願いします。

A 幼い頃から医薬品に興味があり、中でも薬を作り多くの人に届けるといった分野に魅力を感じ志望しました。将来は、新薬の開発や薬の安全性を高めるための研究に携わりたいです。受験では、面接の練習時間が満足にとれなかったのが不安でしたが、一次試験では日頃から勉強に力を入れていたのが功を奏したのだと思います。志を高く持つ友達と勉強し、自分の目標を常に意識してモチベーションを保つことが大切だと思います。

Q 部活動との両立で工夫したことと後輩に激励のメッセージをお願いします。

A 部活動と勉強の両立は大変でした。しかし、部活動でしか得られない経験をするのもでき、その経験は大学受験においても役に立ちました。勉強と部活動の時間をはっきり区別して行動することが重要だと思います。将来に不安を持つ人は少なくないと思います。努力は必ず報われる訳ではありませんが、成功のためには努力が必要です。自分の目標に向かって頑張ってください。



国際クラス

上智大学
文学部 英文学科

島田 心さん

富士市立岩松中学校出身

Q 将来の夢と学校生活について教えてください。

A 留学を経験したことで、英語でのコミュニケーションの楽しさを実感し、将来高校の英語教師になって、英語を学ぶ楽しさを教えたい、という夢を持つようになりました。志望校合格の要因は、留学と英検準一級を取得したことです。留学ではネイティブの英語に身近に触れることができたため、英語環境に慣れることができました。そしてその経験が、その後の英検取得や英語の勉強を頑張る原動力となり、合格を手にすることができました。

Q 受験勉強のアドバイスをお願いします。

A 自主勉強はテスト期間になったら3時間以上はするようにしていました。自分の目指す大学より一段階レベルが高い大学を目標にしてそこに向けて勉強することが大切だと思います。



進学クラス

日本大学
法学部 経営法学科

佐野 篤希さん

バスケットボール部
三島市立南中学校出身

Q 合格の秘訣、進学先を選んだ理由と将来の夢を教えてください。

A 合格の要因は、得意科目をさらに伸ばし、苦手科目は足を引っ張らないように引きあげることができたからです。早い時期に単語などを覚えるようにして本番直前でもあまり焦らずに勉強することができました。進学先を選んだ理由は、文系の中で一番レベルの高い学部に行きたかったこと、法律を学ぶことで将来他の資格も取りやすくなると思ったからです。将来の夢は、建設系の会社を立ち上げることです。

Q 部活動との両立で工夫したこと、勉強方法を教えてください。

A 部活動の練習が終わった後は疲れていて、書いて覚える勉強は、集中できなかったため、単語暗記や授業の復習を行い、休みの日に集中して問題を解くなどして、勉強方法を工夫しました。また、基礎をしっかりと身に付けるためには、普段から苦手な範囲を後回しにせずに、忍耐強く勉強を続けることが大事だと思います。

「学校推薦型選抜・総合型選抜」進路状況

※数字等はすべて令和3年12月末日までのものです。

令和3年度卒業生進路状況 卒業生556名(令和4年3月卒業予定)

区分	日本大学						国公立大学				他私立大学				準大学		専門職大学		専修各種学校		未定その他
	大学			短大			大学		短大		大学		短大		大学	短大	総合	学校推薦			
	学校推薦	総合	校友	学校推薦	総合	学校推薦	総合	学校推薦	総合	学校推薦	総合	学校推薦	総合								
合格者数	321	3	1	8	0	1	0	4	2	0	0	78	35	3	6	0	0	1	1	17	14
進路決定者数(合計)	318	2	1	8	0	1	0	4	2	0	0	76	30	2	6	0	0	1	1	17	14
	321			8		1		6		0		106		8		0		2		31	73

日本大学合格者数(令和3年度卒業生の日本大学合格者数) ※法学部は2部を含む 各学部内訳

学部	大学																	短期大学部			専門	総計
	法	文理	経済	商	芸術	国際関係	危機管理	スポーツ	理工	生産工	工	医	歯	松戸歯	生物資源	薬	小計	三島	船橋	小計		
総合型選抜	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
学校推薦型選抜	29	52	46	30	7	35	9	3	43	23	4	0	1	2	31	6	321	8	0	8	1	330
校友会女子入試	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	30	52	46	30	7	37	9	3	44	23	4	0	1	2	31	6	325	8	0	8	1	334

現役生の大学合格者数(大学別)

国公立大学		私立大学										海外の大学	
静岡	2	日本	325	東京都市	2	文京学院	1	花園	1	ヤマザキ動物看護	2	北京外国語	1
静岡県立	2	早稲田	1	東京工科	1	東洋学園	1	京都芸術	1	日本女子	1		
静岡文化芸術	1	国際基督教	1	神奈川	2	東京経済	1	洗足学園音楽	1	東京女子	3		
山梨	1	上智	1	関東学院	1	東京国際	4	静岡福祉	2	白百合女子	2		
		東京理科	3	東海	1	東京聖栄	1	常葉	5	鎌倉女子	4		
		明治	2	帝京	1	東京福祉	2	昭和薬科	1	大妻女子	1		
		立教	1	帝京平成	4	桐蔭横浜	1	横浜薬科	3	昭和女子	1		
		中央	2	帝京科学	1	横浜商科	1	日本薬科	1	相模女子	1		
		法政	1	昭和	1	秀明	1	東京女子医科	1	女子美術	1		
		同志社	1	桜美林	1	日本体育	2	杏林	1	東京女子体育	1		
		成蹊	1	大東文化	1	日本福祉	1	国際医療福祉	3				
		成城	2	国土館	1	名古屋外国語	1	順天堂	7				
		明治学院	3	亜細亜	1	京都外国語	1	聖隷クリストファー	1				
		玉川	2	立正	1	愛知産業	1	湘南医療	2				
		国学院	3	江戸川	1	名城	1	東都	2				

特別進学クラス合格大学一覧(日大三島中高一貫生含む)

国公立大学		私立大学									
静岡	2	日本	20	立教	1	明治学院	3	昭和	1	東京女子	3
静岡県立	2	早稲田	1	中央	2	国学院	2	名城	1	鎌倉女子	1
静岡文化芸術	1	国際基督教	1	法政	1	東京都市	2	昭和薬科	1	昭和女子	1
山梨	1	東京理科	3	同志社	1	神奈川	2	横浜薬科	2		
		明治	2	成蹊	1	帝京	1	順天堂	1		

日大三島中学出身者合格大学一覧

私立大学													
日本	16	東京理科	2	同志社	1	明治学院	1	東京女子	1	国際医療福祉	1	洗足学園音楽	1
国際基督教	1	中央	1	成蹊	1	国学院	1	順天堂	2	横浜薬科	1		

令和3年度 部活動実績

高等学校

陸上競技部

3-1 佐竹 結月(沼津三中)

令和3年度静岡県高等学校総合体育大会陸上競技大会
400m 第1位/400mH 第1位

第68回東海高等学校総合体育大会陸上競技大会
400m 第2位/400mH 第3位

令和3年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会
400m 第5位

3-1 助川 拓真(伊東南中)

第68回東海高等学校総合体育大会陸上競技大会
400mH 第4位

1-1 武田 亜子(三島南中)

令和3年度静岡県高等学校総合体育大会陸上競技大会
800m 第1位

第37回U20日本陸上競技選手権大会
800m 第2位

第53回静岡県高等学校新人陸上競技対抗選手権大会
800m 第1位

第15回U18日本陸上競技選手権大会
800m 第6位

1-1 関野 大空(裾野東中)

第76回国民体育大会成年・少年選考会(第1回)
少年B 3000m 第1位

2-1 丹澤 来羽(金岡中)

第76回国民体育大会成年・少年選考会(第1回)
少年A 300m 第1位

第53回静岡県高等学校新人陸上競技対抗選手権大会
400m 第1位

第24回東海高等学校新人陸上競技選手権大会
400m 第3位

2-13 久松 結夏(今沢中)

第76回国民体育大会成年・少年選考会(第1回)
少年共通 3000mW 第1位

1-1 櫻庭 寿乃(今沢中)

第53回静岡県高等学校新人陸上競技対抗選手権大会
200m 第1位

令和3年度静岡県高等学校総合体育大会陸上競技大会

男子 4×400mR 第1位

女子 4×400mR 第1位

第68回東海高等学校総合体育大会陸上競技大会

男子 総合 第4位/トラックの部 第3位/4×400mR 第2位

女子 4×400mR 第3位

2021全国高等学校リモート陸上競技大会

男子 4×400mR 第8位

女子 4×400mR 第5位

令和3年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会

男子 4×400mR 第6位

第76回静岡県陸上競技選手権大会

男子 4×400mR 第1位

第64回東海陸上競技選手権大会

男子 4×400mR 第3位

女子 4×400mR 第3位

第53回静岡県高等学校新人陸上競技対抗選手権大会

女子 トラックの部 第1位

水泳部

1-1 中島 芽郁(日大三島中)

第68回東海高等学校総合体育大会水泳競技

100m背泳ぎ 2位/200m背泳ぎ 4位

第44回 全国JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会

100m背泳ぎ 5位

2021年度静岡県高等学校新人体育大会水泳競技

100m背泳ぎ 優勝/200m背泳ぎ 優勝

2-16 押尾 駿太(賤機中)

2021年度静岡県高等学校新人体育大会水泳競技

1500m自由形 優勝

男子テニス部

令和3年度静岡県高等学校新人体育大会テニス競技

団体戦 第1位

第44回全国選抜高校テニス大会東海地区大会

団体戦 第3位

野球部

第74回秋季東海地区高等学校野球静岡県大会

第1位

第74回秋季東海地区高等学校野球大会

第1位

第52回明治神宮野球大会

ベスト8

女子バスケットボール部

第8回3×3 U18 日本選手権静岡県大会

第1位

第8回3×3 U18 日本選手権中日本エリア大会

第2位

第8回3×3 U18 日本選手権大会

第5位

囲碁将棋部

2-20 萩本 夏々彩(日大三島中)

第52回静岡県高等学校将棋選手権大会 兼

静岡県高等学校文化連盟将棋専門部春季大会

女子個人戦 優勝

第32回静岡県高等学校将棋新人戦県大会

女子個人戦 優勝

中学校

水泳部

3-B 大嶽 杏奈(三島北小)

静岡県中学校水泳競技大会

200m自由形 2位

400m自由形 3位

第44回 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会

400m自由形 出場

部活ピックアップ

男子テニス部



11月6日(土)、7日(日)に第44回全国選抜高校テニス大会東海地区大会が浜松で開催されました。その結果、見事団体3位の成績を収め、3月21日(月)～25日(金)に福岡県博多の森テニス競技場で行われる第44回全国選抜高校テニス大会に東海地区の代表として出場することが決定しました。

最後まであきらめないで勝負する強い精神力が、今回の結果につながりました。選抜大会の出場は4年ぶり22回目となり、今大会ではベスト8を目指してチーム一丸となって挑

みます。「泥臭く、根性のあるチーム」を掲げ、毎日遅くまで練習し、何度も遠征にも行きました。その成果を存分に発揮し、全国の舞台上で活躍することを期待しています。



選抜大会出場
おめでとう!

※結果は令和3年4月1日から令和4年2月18日現在までの記録です。

